

栗駒山の火山活動解説資料（平成 22 年 1 月）

仙台管区気象台
火山監視・情報センター

火山活動に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は見られません。
平成 19 年 12 月 1 日に噴火予報（平常）を発表しました。その後、予報警報事項に変更はありません。

○ 活動概況

・地震や微動の発生状況（図 2～3）

栗駒山を震源とする地震活動は低調な状態が続いています。火山性微動は観測されませんでした。
なお、栗駒山の近傍では、2008 年 6 月 14 日に発生した「平成 20 年（2008 年）岩手・宮城内陸地震」（M7.2）の余震活動が続いています。

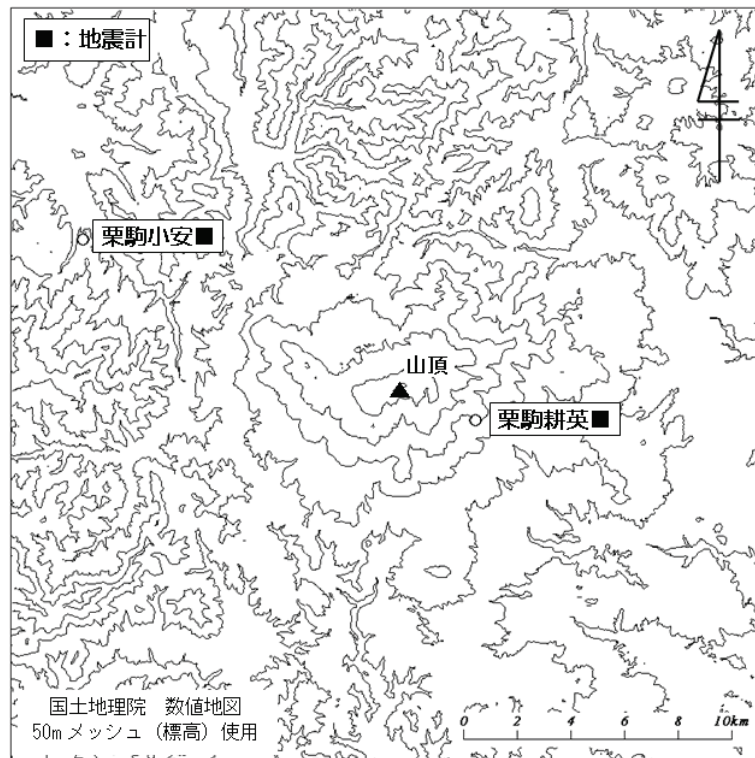


図 1 栗駒山 観測点配置図

この火山活動解説資料は、仙台管区気象台のホームページ (<http://www.jma-net.go.jp/sendai/>) や、気象庁ホームページ (<http://www.seisvol.kishou.go.jp/tokyo/volcano.html>) でも閲覧することができます。次回の火山活動解説資料（平成 22 年 2 月分）は平成 22 年 3 月 9 日に発表する予定です。

※資料は、気象庁のデータの外、東北大学、独立行政法人防災科学技術研究所のデータを利用して作成しています。

本資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の「数値地図 50m メッシュ (標高)」を使用しています (承認番号 平 20 業使、第 385 号)。

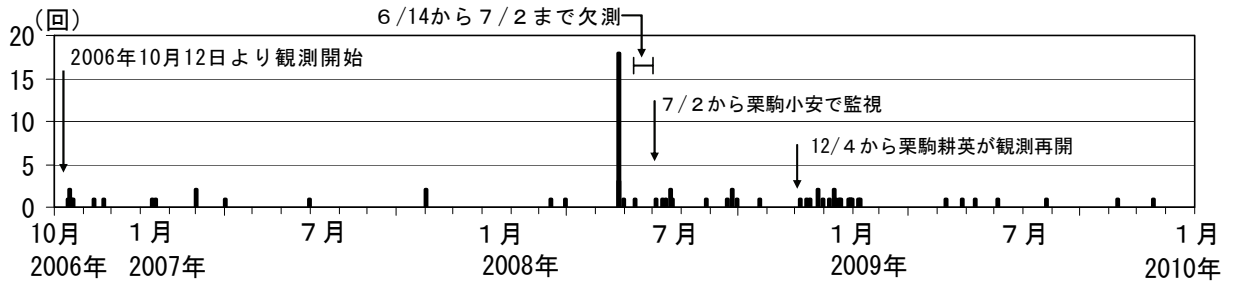


図2 栗駒山 日別地震回数（2006年10月～2010年1月）

2006年10月12日から観測開始。

栗駒山の火山監視用の「栗駒耕英（こうえい）」観測点は、2008年6月14日の「平成20年（2008年）岩手・宮城内陸地震」の影響により観測不能となっていました。12月4日に復旧しました。7月2日18時から山頂の北西約10kmに設置した「栗駒小安（おやす）」と合わせて監視を行っています（図1）。

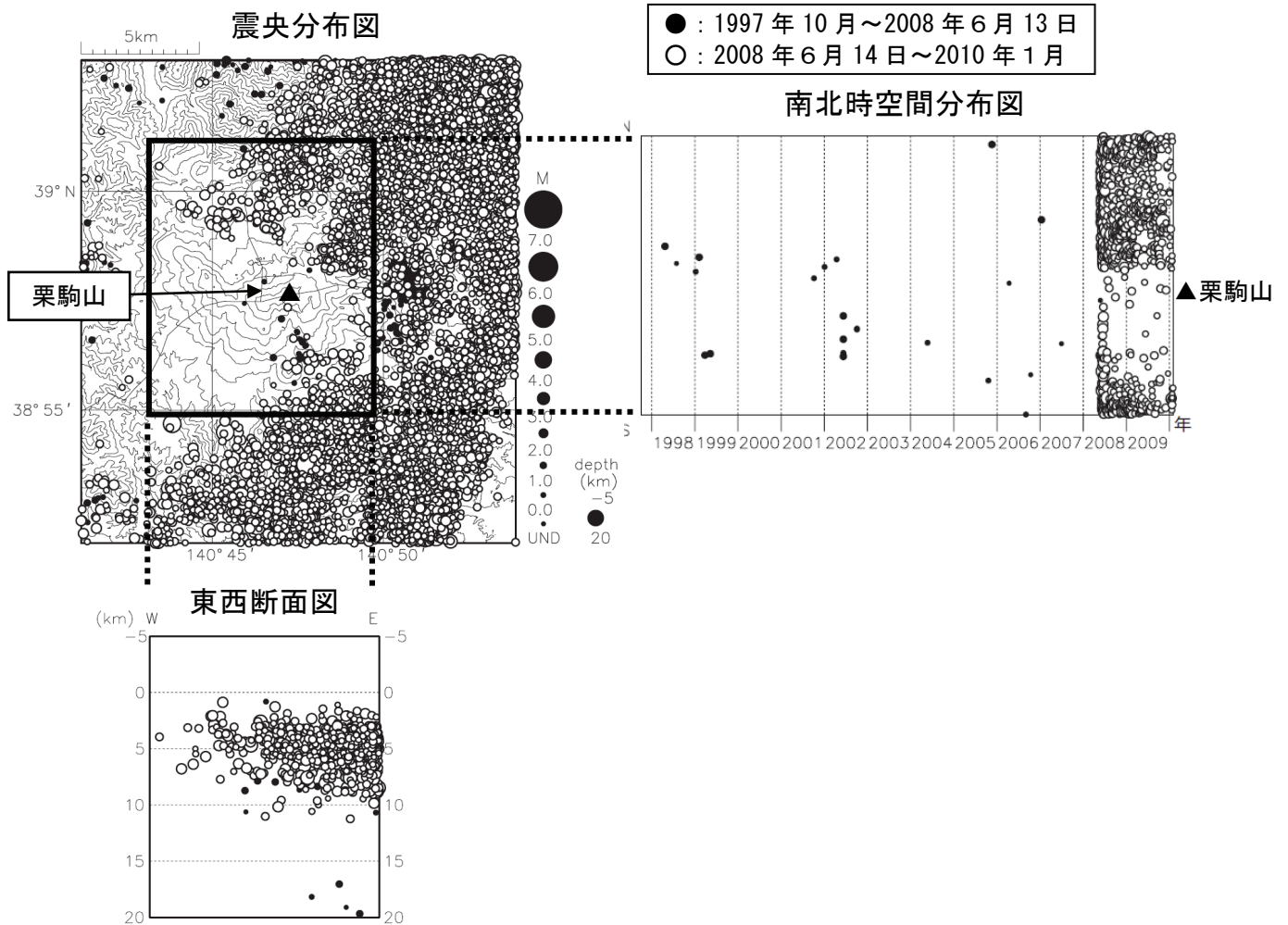


図3* 栗駒山周辺の地震活動（1997年10月～2010年1月）

注）2001年10月以降、検知能力が向上しています。

M（マグニチュード）は地震の規模を示します。

図中の一部の震源要素は暫定値で、後日変更することがあります。